令和5年度　宮古市通学路交通安全対策箇所一覧

NO.	学校名	路線名	危険箇所	通学路の状況・危険の内容（学校等からの指摘事項）	点検結果	対策案	事業主体	事業者区分	道路の管理区分	対策状況	実施予定時期（未実施の場合）	実施年月（実施済の場合）	備考
1	崎山小学校	トロノ木1号線	崎山3-1-1 崎山中職員駐車場付近	児童生徒が崎山ニュータウンから徒歩で通行する通学路となっているが、道幅が狭くなっている区間である上に、側溝に蓋ふたがなく、車両が脱輪した際に児童生徒に被害が及ぶ危険がある。狭い道であるが、バス道路にもなっている。	幅員が狭く、歩道がない事から、歩行者と車両の接触事故の危険性がある。	新たなグリーンベルトの整備及び側溝蓋の設置	宮古市	道路管理者	市道	実施済	－	令和5年7月	
2		崎山小学校線	崎山3-2 崎山学童の家の北側三叉路	崎山ニュータウン他からの道路が複数合流する三叉路となっているため、車両同士の事故の危険が高く、ガードレールもへこんでいる。児童生徒が徒歩で通行する通学路となっているが、歩道がなく、横断するにもどこで渡るのがよいのか判断に迷う箇所であり、バス道路にもなっている。	歩行経路が曖昧であり、歩行者と車両の接触事故の危険性がある。	ドットライン及びグリーンベルトの整備	宮古市	道路管理者	市道	実施済	－	令和5年7月	
3		学校敷地内	崎山3-2　校門付近～昇降口	学校敷地内のグリーンベルトが薄くなっているため、危険である。	白線、グリーンベルトが消えかけている。	白線、グリーンベルトの引き直し	宮古市	市教育委員会	市道	実施済	－	令和5年7月	
4		国道45号	崎山2-27-3 付近信号付き横断歩道	国道45号線から崎山小・崎山中への入口にある信号機つきの横断歩道であるが、横断歩道部分の白標示が消えかかっている。北進する際は下り坂の左カーブとなり、南進する際は上り坂の先となるため、信号があるとはいえ白標示が見えづらいのは危険だと考える。	横断歩道と一時停止線が消えかけている。	横断歩道の引き直し	①宮古警察	警察	国道	実施済	－	令和5年9月	
5	宮古第二中学校	国道45号	日の出郵便局付近の横断歩道	暗くなると信号待ちをしている人が見えにくく、横断歩道を渡るとき、日の出郵便局側から左折して国道45号線に出る車と接触する危険がある。	要望箇所側には道路照明がなく、街路樹が生い茂っているため、運転手から歩行者が見えにくい状況である。	道路照明の新規整備について検討する。（支障木の枝払については、対応済）	三陸国道事務所	道路管理者	国道	実施中	令和6年 （完成予定時期）	令和5年～	令和5年9月　関係機関と交通量調査実施済み
6	磯鶏小学校	国道45号	宮古港IC交差点の横断歩道	登校時、自動車の交通量が多い。	自動車及び自転車の交通量が多い路線である。	スクールゾーン周知看板、路面標示などの設置について検討する。	三陸国道事務所	道路管理者	国道	未実施	令和6年度～	－	交通量や走行速度の調査結果を踏まえて関係機関と協議予定
7	宮古第一中学校	国道106号	一中前の道路から 106号線に出る十字路	両側の建造物が高く、歩道の見通しが悪い。通行生徒と車両の接触事故の恐れがある。	街路樹が死角を作っている状況である。	視距を確保するため、下り線の歩道の街路樹を伐採する。	岩手県	道路管理者	国道	実施済	－	令和5年7月	
8		国道106号	マクドナルド前十字路	生徒が横断歩道を歩行時に、右折・左折する車両との接触事故が起きている。	交通量の多い交差点であり、道路を横断する生徒に注意する必要がある。	警戒標識（学校、幼稚園、保育園等あり）を設置する。	岩手県	道路管理者	国道	実施済	－	令和5年11月	
9		県道宮古岩泉線	出逢い橋下　交差点	交通量が多く、横断歩行時に接触の恐れがある。	交通量の多い交差点であり、道路を横断する生徒に注意する必要がある。	警戒標識（学校、幼稚園、保育園等あり）を設置する。	岩手県	道路管理者	県道	実施済	－	令和5年11月	
10		県道宮古岩泉線	山口川　交差点	交通量が多く、横断歩行時に接触の恐れがある。	交通量の多い路線であるが、道路の高低差により走行車両から横断歩道を認識しにくい状況である。	警戒標識（T型道路交差点あり）を設置する。	岩手県	道路管理者	県道	実施済	－	令和5年11月	
11		山口地区14号線	山口小学校　新開橋付近	道路が狭く、接触の恐れがある。	新開橋には歩道が整備されているが、山口川沿いの市道については歩道がないため、歩行者と車両の接触事故の危険性がある。通学時には通勤車両等の利用も多い路線である。	①注意喚起看板または②交通安全に係るのぼり旗を設置する。	宮古市	①道路管理者 ②市生活課	市道	実施済	－	令和6年1月	
12	重茂小学校	重茂小学校線	重茂小学校（重茂2－12）付近	校舎裏の駐車場から県道41号線への道路の側溝に蓋がない。狭い道路なので，車両と歩行者がすれ違う際に落下する危険がある。	車両と歩行者の接触事故の危険性がある。	側溝蓋の設置について検討する。	宮古市	道路管理者	市道	未実施	令和6年度	－	
13		県道重茂半島線	重茂中学校（重茂2－1）付近	県道で，通勤通学時は交通量が多いのだが，横断歩道がない。重茂小学校の登校班が毎日横断する箇所となっている。	車両と道路を横断する生徒が接触する恐れがある。	①歩行者の待避場所を含めた交差点の形状について検討する。 ②道路管理者（岩手県）で予定している道路改良工事の協議過程において、横断歩道の要否を含めて検討する。	①岩手県 ②宮古警察	①道路管理者 ②警察	県道	未実施	①令和6年度～ ②令和6年度に検討	－	
14	重茂中学校	県道重茂半島線	重茂出張所付近のカーブ	カーブミラーがあるが，見通しが悪い	カーブ内側の石積の影響で見通しが悪く、道路幅員が狭い。	歩行者の歩行空間を明示するため、路肩部にのカラー標示を施工する。	岩手県	道路管理者	県道	未実施	令和5年度	－	
15		県道重茂半島線	重茂出張所の隣の家のブロック塀	道路側に倒れそうになっている	石積の上に設置されたブロック塀が道路側に倒れる恐れがある。	交通への影響が懸念される一部のブロック塀を撤去する。個人所有のブロック塀は所有者に注意喚起を行う。	岩手県	道路管理者	県道	未実施	令和5年度	－	
16		県道重茂半島線	重茂漁協から重茂中までの道	歩道がない場所が多く、あっても狭い	道路幅員が狭く、車両と歩行者が接触する恐れがある。	①歩行者の歩行空間を明確にするため、路肩部にカラー標示を施工する。 ②令和6年度の交通規制対策協議会に向けて調査検討を進める。	①岩手県 ②宮古警察	①道路管理者 ②警察	県道	未実施	①令和5年度～ ②令和6年度に検討	－	
17		県道重茂半島線	重茂の「舘上」バス停付近の道路	車道との区別が明確でなく、スクールバスへの移動や待機中の小学生が動くことがあり、ヒヤッとすることがある	交通量が多く、スクールバス利用時には児童と車両の接触事故の危険性がある。	待避所の設置を検討する。	岩手県	道路管理者	県道	未実施	令和6年度～	－	
18		浦の沢線　ほか	重茂中から平浜方面への道路	冬季、日陰のカーブのところが長期間凍っていて、スクールバス運行が心配である	危惧される箇所には砂箱が設置されている。日頃から重点的にパトロールを行っている路線である。	引き続き、重点的にパトロールを行う。	宮古市	道路管理者	市道	未実施	－	通年	
19		浦の沢線	笹見内地区の通学路	街灯の数が少なく、日没の早い時期の帰宅が心配である	延長が長く、街灯の設置間隔が広い区間があった。	具体的な街灯設置要望箇所について、再度地域を確認し、対応する。	宮古市	道路管理者	市道	未実施	令和6年度	－	
20		浦の沢線	笹見内地区の通学路	大型トラックの交通量が多い	漁港を利用する車両や災害復旧工事の車両が多く走行していた。	交通安全指導の徹底	学校	学校	市道	実施済	－	通年	
21	新里中学校	山桑線	刈屋第16地割付近（山桑橋付近）	道路と沢を隔てるガードレールが途切れており、沢に落下する恐れがある。	ガードレールの設置基準には満たない道路ではあるが、河川用地からの雑草等により舗装端が判別しにくい状況であり、車両と歩行者のすれ違い時に転落や接触事故の危険性がある。	現在の幅員を確保するため、ガードレール等の設置ではなく、道路の東側沿いにグリーンベルトを整備する。	宮古市	道路管理者	市道	実施済	－	令和5年12月	
22	花輪小学校	県道：花輪千徳線	花輪第4地割26付近 花輪小学校～鱒沢橋　十字路	①2020年秋、本校保護者の運転する自家用車と通行していた乗用車が接触する事故が発生した。 ②2021年4月、本校保護者の運転する自家用車と通行していた自転車が衝突し、人身事故が発生した。 ②2023年3月、地区民の運転する軽トラックと通勤途中の市内住民の乗用車が衝突しする事故が発生した。	交通量が多いが、見通しの良い十字路であった。直線道路であるため、加速しやすい区間であった。	①区画線の引き直し、定期的な草刈りの実施、警戒標識の標識板の更新を行う。 ②定期的なパトロールの実施。	①岩手県 ②宮古警察	①道路管理者 ②警察	県道	実施済	－	①令和6年1月 ②通年	
23	千徳小学校	上鼻地区1号線	上鼻一丁目5-1付近 上鼻踏切	道路が狭いため危険を伴う。また、通勤の自動車が迂回路として使用するため、交通量が多い。通学児童と通行車両の接触事故の恐れがある。	幹線道路の渋滞を避けるため、抜け道として利用する車両が多くみられた。	規制の可否について検討する。	宮古警察	警察	市道	未実施	令和6年度に検討	－	
24		西ヶ丘中央線	西ヶ丘1丁目5　千徳小学校前交差点	交通量が多く、横断するのに危険が伴う。昨年冬、横断歩道付近で車両事故があった。通学児童と通行車両の接触事故の恐れがある。	住宅街であることに加え、中学校と小学校が近接しており、保護者等の利用も多い路線であった。	横断歩道の引き直し。	宮古警察	警察	市道	未実施	令和6年度	－	
25		板屋近内線 近内岩船線	近内4丁目2－3付近 近内ローソン前T字路	交通量が多い。また、西側から右左折する車が一時停止線を越えることが多く、横断するのに危険が伴う。通学児童と通行車両の接触事故の恐れがある。	近内岩船線において、一時停止を無視し、ドットライン手前で左右確認する車両が多くみられた。また、板屋近内線は高規格道路へのアクセス道路となっており、交通量が多く、南下する車両は規制速度を超過する傾向があった。	①近内岩船線において横断歩道の予告看板設置を検討する。一時停止の路面標示についてカラー舗装等を検討する。 ②住宅密集区間であることを踏まえ、最高速度規制の可否について検討する。	①宮古市 ②宮古警察	①道路管理者 ②警察	市道	未実施	①②令和6年度に検討	－	
26		長根近内線	近内1丁目5付近　長根入り口Y字路	道路が狭いうえ見通しが悪く、危険を伴う。通学児童と通行車両の接触事故の恐れがある。	バス路線であり、朝には通勤車両と通学児童の接触事故の危険性がある。	①対向車と歩行者の接触事故を防ぐため、ドットライン沿いにグリーンベルトを整備する。 ②引き続き児童には川側を通行するよう指導する。	①宮古市 ②学校	①道路管理者 ②学校	市道	未実施	令和5年度	－	
27	高浜小学校	磯鶏金浜線	金浜第2、第3地割付近　①	道路が狭いうえ、歩道がない箇所や見通しが悪い箇所がある。また、通行車両のスピードも速く通学児童と接触事故の恐れがある。	学童注意等の警戒看板等が劣化しており、車両から識別にしくい状況であった。	注意喚起のため、①のぼり旗を学校に配布し、②啓発が必要な箇所に設置する。	①宮古市 ②学校	①市生活課 ②学校	市道	実施済	－	令和6年1月	
28		磯鶏金浜線	金浜第2、第4地割付近　②		カーブ区間が特に狭小であるため、出合い頭に車両が衝突する、歩行者との接触事故の危険性がある。	車両待避スペース確保のため、歩道区間の改良を検討する。また、歩道が確保できない区間についてはグリーンベルトの整備を検討する。	宮古市	道路管理者	市道	未実施	令和6年度	－	
29	津軽石中学校	栄通り1号線	津軽石川国道45号対岸の土手 駒形橋付近	車道が狭く、入れ違いが困難な箇所がある。車が歩道に入るケースもあり、注意が必要。	地域要望により、車道内に歩道を整備した路線である。退避スペースがない区間で車両同士がすれ違う場合には、一時的に歩道に進入する車両が見受けられ、歩行者との接触の危険性がある。	交通安全指導の徹底。	学校	学校	市道	未実施	－	通年	
30		向川原荷竹線	津軽石第10地割 三陸鉄道第一釜石街道踏切	踏切が狭い。朝のラッシュ時は交通量も多く、注意が必要。一時停止を無視する車両も多い。	歩道スペースが整備されている踏切であるが、大型車両の通行も多く、通学の際には特に注意されたい箇所である。	定期的なパトロールの実施。	宮古警察	警察	市道	未実施	－	通年	
31	宮古市	牛伏線	牛伏橋	当該橋は千徳小学校への通学路となっているが，橋梁照明が点灯不良となっており、登下校時危険を伴う。	橋梁照明の点灯不良が認められる。	橋梁照明の修繕。	宮古市	道路管理者	市道	未実施	令和6年度～	－	